

2019 年 4 月 8 日

株式会社 JOLED への追加出資について

- ・ 印刷方式有機 EL ディスプレイの開発・製造・販売を行う JOLED に追加出資
- ・ JOLED は世界で初めて印刷方式有機 EL ディスプレイの量産化体制を構築
- ・ 高画質・薄型・軽量などの特長から、車載、医療、航空など様々な分野での採用が見込まれる

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、このたび、有機 EL ディスプレイを開発・製造・販売する株式会社 JOLED（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石橋 義、以下「JOLED」）に対し、同社の新たな事業展開を推進するための成長資金投入を決定し 200 億円の追加出資を行いました。また、今回のラウンドでは、INCJに加えて、ソニー株式会社、NISSHA 株式会社も出資を行います。

JOLED は、有機 EL ディスプレイの量産開発加速および早期事業化を目的として、ソニー株式会社、パナソニック株式会社の有機 EL ディスプレイの開発部門を統合し、2015 年 1 月に設立されました。同社の独自製造技術をもって生産される印刷方式有機 EL ディスプレイは、蒸着方式に比べ「多品種少ロット生産」にも対応が可能で、中型サイズのディスプレイを安定的かつ高効率に生産できる技術です。用途としては、車載や医療用モニター、ハイエンドモニターなど様々な分野での採用が見込まれています。JOLED では、今回の増資を含めた資金調達により、世界で初めて印刷方式有機 EL ディスプレイの量産化体制を整え、2020 年の稼働開始を目指します。

INCJ では、設立時の出資に加え、株式会社ジャパンディスプレイから取得した能美工場の譲渡など、JOLED が培ってきたグローバルレベルでの競争力を持つ印刷方式有機 EL ディスプレイの事業化を支援してきました。このような高付加価値有機 EL ディスプレイを世界に先駆けて開発・量産することは、国内の材料・ディスプレイ・最終セット製品メーカーという業界全体の競争力強化にもつながるものと考えており、INCJ は今後も引き続き JOLED の事業展開を支援していきます。

株式会社 JOLED について

設 立 : 2015 年 1 月

本 社 : 東京都千代田区

代表者 : 石橋 義 代表取締役社長

事業内容 : 有機 EL ディスプレイならびにその部品、材料、製造装置および関連製品の研究・開発、
製造および販売

URL : <https://www.j-oled.com/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話 : 03-5218-7202

[別紙]

追加支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・ 設 立 : 2015 年 1 月
- ・ 本 社 : 東京都千代田区
- ・ 代表者 : 石橋 義
- ・ 事業内容 : 有機 EL ディスプレイならびにその部品、材料、製造装置および関連製品の研究・開発、製造および販売

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定 / 実投資額 : 200 億円
- ・ 共同投資家 : ソニー株式会社、NISSHA 株式会社
- ・ これまでの支援決定公表内容
2014 年 7 月 31 日 有機 EL ディスプレイパネルに関する統合新会社設立について
<https://www.incj.co.jp/news/assets/1418094109.01.pdf>

3. 投資意義

<社会ニーズへの対応>

- ・ 高付加価値有機 EL ディスプレイを世界に先駆けて開発・量産することは、国内の材料・装置メーカーから最終セット製品メーカーという裾野の広い業界全体の競争力強化につながる。
- ・ 現在の有機 EL ディスプレイ市場は、小型・大型が中心であり、中型の領域における市場ニーズは非常に高い。

<成長性>

- ・ 有機 EL ディスプレイの強みである、薄型・軽量、フレキシブル、自由形状などの特長により、従来にない顧客価値の創造、新規市場の開拓が期待できる。
- ・ 印刷方式は多品種少量ロット生産に対応可能なため、車載や医療用モニターをはじめ、様々な分野での採用が見込まれる。

<革新性>

- ・ ソニー、パナソニック両社の有機 EL ディスプレイの開発部門を統合した JOLED は、競合他社が容易に追従できない印刷方式による製造技術・ノウハウを蓄積。
- ・ JOLED が手掛ける印刷方式は、中型領域の有機 EL ディスプレイを安定的・高効率に生産できる唯一の技術。

4. 主務大臣（経済産業大臣）の意見

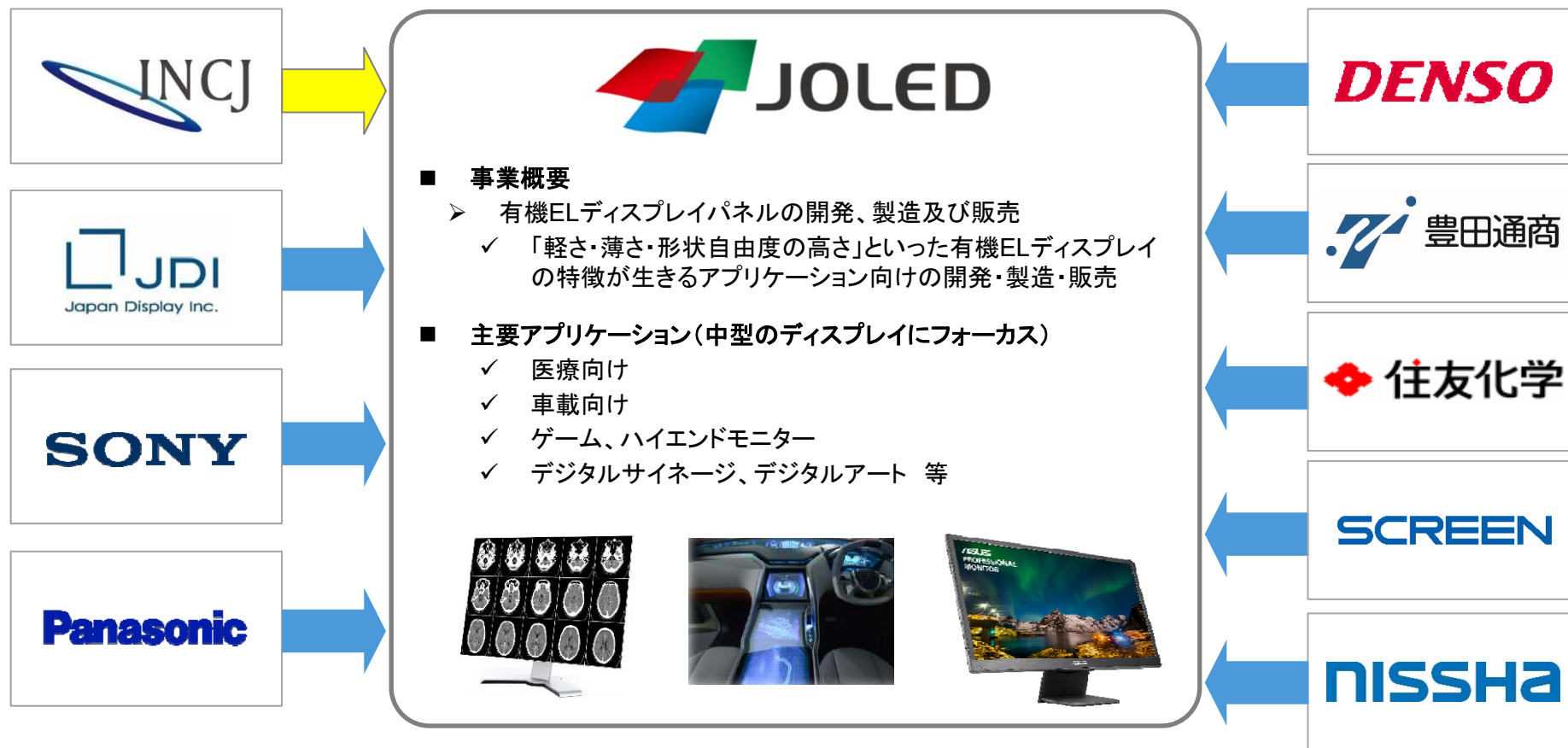
株式会社 INCJ は、本件支援が有機 EL ディスプレイ分野の国際競争における当事会社の競争優位の確立につながるよう積極的な役割を果たすとともに、将来、保有する株式の譲渡その他の処分を決定する時は、我が国ディスプレイ産業全体のあるべき姿を念頭に、処分方法を検討し、また、経済産業省との緊密な連携を継続されたい。

以上

投資対象：株式会社JOLED(ジェイオーレッド)

事業内容：有機ELディスプレイパネルの開発、量産技術の開発及び事業化

支援決定公表日：2014年7月31日／2019年4月8日



- 国内の有機ELディスプレイパネルに関する世界最高水準の技術・リソースを集結
- JOLEDは世界で初めて印刷方式有機ELディスプレイの量産化体制の構築を進める